

平成23年度 第2回理事会議事録

日時：平成23年7月29日（金） 17：30～19：10

場所：（財）電力中央研究所（東京都千代田区大手町）

構成理事現在数：18名（定足数2/3 12名）

出席理事：数土、香田、中森、山上、樫尾、並木、桑畑、米沢、諸星、山本、松井、土谷、小沢、猿渡、山田、塩出、西崎、中出

出席監事：中川、宮沢

オブザーバー：鈴木、八巻

事務局：滝沢 書記：福田恵美子

（審議事項）

1. 平成23年度第1回理事会議事録の件
議長より説明があり、全員異議なく承認された。
2. 入会承認の件
並木理事より説明があり、全員異議なく承認された。事務局より、賛助会員の退会は来年度春であるとの補足説明があった。
3. 平成23年度委員会・幹事委嘱追加の件
山上副会長、事務局より説明があり、全員異議なく承認された。
4. 第1・四半期収支の件
桑畑理事より説明があり、全員異議なく承認された。平成23年度研究発表会の中止にともない、研究発表会、シンポジウムの収入・支出が減少していることの説明があった。また、退職金支払いの影響により人件費の決算費が前年比で大きくなったとの説明があった。
5. 学生論文賞授賞候補の件
中森副会長より説明があり、全員異議なく承認された。現在、論文賞への応募の勧誘は学会誌でおこなっているが、議長より、応募数を増やすため他の勧誘方法を検討するよう提案があり、メールマガジンにも応募記事を掲載することとなった。また、被表彰者を増やす等、会員数増加のために学生論文賞を活用していく方法を、広報委員、事務局とも協力して表彰委員会において検討していくこととなった。
6. 平成24年度春季研究発表会予算案の件
山上副会長より説明があり、全員異議なく承認された。平成24年春季研究発表会以降、研究発表会での黒字化を目指し予算作成をすることとなった。鈴木オブザーバー（中部支部長）から、平成24年度秋季発表会では、交通の便のよい会場での開催を予定しており会場費が高額になることが予想されるが、参加者数の増加を期待しての方針なのでその旨考慮して欲しいとの意見があった。
7. 平成23年度ORサロン予算案の件
米沢理事より説明があり、全員異議なく承認された。
 - ・山田理事（中国・四国支部長）より、計画段階である来年1月のORサロンについて、中国・四国支部での開催は決定事項かとの質問があり、以後、支部には早期に伝えて協力を仰ぐこととなった。
 - ・松井理事により、OR誌に掲載費が計上されていることが指摘され、綴じ込み記事として掲載していることが掲載費発生の原因であることが確認された。原稿の締め切りを遅らせることで報告記事を早く載せられることが綴じ込みとする利点である旨、説明があったが、山上副会長より、綴じ込み料のコストを削減するため、通常の記事として掲載できないか提案があ

った。本件に関しては、普及委員・編集委員・事務局を中心に検討していくことになった。

- ・次回、10月の会場として予定している中野サンプラザでの開催が決定した場合、会場の収容人数が大きいため、広報を工夫して集客するとの提案が猿渡理事からあった。

8. 平成23年度ORセミナー予算案の件

米沢理事から説明があり、全員異議なく承認された。

- ・ORセミナーの記事も綴じ込み記事としてOR誌に掲載されているので、ORサロンの記事と同様、掲載方法を見直すこととなった。
- ・鈴木オブザーバー（中部支部長）より、一人一台PCを提供し実習をともなったセミナーを開催し大変好評であった事例が紹介された。これを参考に、実習を取り入れる旨、検討することとなった。
- ・猿渡理事から、平日日中だと社会人の私費での参加は難しいので、社会人学生を参加させられるよう土曜日の開催も視野に入れることが提案され、研究普及委員で検討することとなった。
- ・最適化アプリとその応用事例を扱う予定の講演4では、特定の企業の製品の宣伝にならないよう、一社に頼むときには講師料をなくすことや、賛助会員のソフトウェアを均等に紹介することが提案された。

9. 経営工学3団体のシンポジウムへの参加の件

八巻前理事より説明があり、全員異議なく承認された。参画にあたって、FMES、および横幹連合との連携も含めて、八巻前理事、渉外理事、研究普及理事と検討して進めていくこととなった。OR学会としては当面、香田副会長が窓口となることとした。

10. 学会事務所移転の件

事務局より説明があり、全員異議なく承認された。

11. 事務所移転に伴う「定款変更」と「臨時総会開催」の件

事務局より説明があり、文科省より内諾を得た変更案を確認し、全員異議なく承認された。

- ・第3回理事会後、10月7日18:00より臨時総会が開催されることとなった。
- ・中国・四国支部長より、支部単位での総会の案内も、以後、往復ハガキではなくWebを利用しておこなっても構わないかとの質問があった。支部長会議等で、本部でのWebを利用した案内の実施を周知することとなった。

12. 積立金資産から流動資金へのシフトの件

桑畑理事より説明があり、全員異議なく承認された。

(報告事項)

13. 公益法人化の件

樫尾理事より、公益法人化移行についての経緯説明があり、8月に申請をする旨、報告された。

14. 平成24年度支部事業の進捗状況と平成23年度事業計画の件

山上副会長より報告された。

15. 平成23年度秋季研究発表会の大略スケジュールについての件

事務局より報告があった。

16. 文科省立ち入り検査報告 その後の進捗の件

事務局より報告された。

17. 事務局経費削減の件

事務局より、人件費・家賃削減に続き、今回は広告収入の増について報告があった。

18. 理事会開始時刻の件

事務局より報告があった。事務局からあらためて、開始時刻の前倒しにともなう出欠の可否について各支部長にもう一度確認し、第4回から原則として17時から開催することとなった。なお、第3回理事会は16:00から開催される。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

平成23年7月29日

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
平成23年度 第2回理事会

議 長

數土 文夫

議事録署名人

並木 誠

議事録署名人

桑畑 暁生